

資料2

つくば市在宅医療・介護連携推進事業 評価指標について

平成30年度第1回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会

共有・協議したいこと

①指標について

②つくば市が目指す理想像の設定について

指標とその考え方について

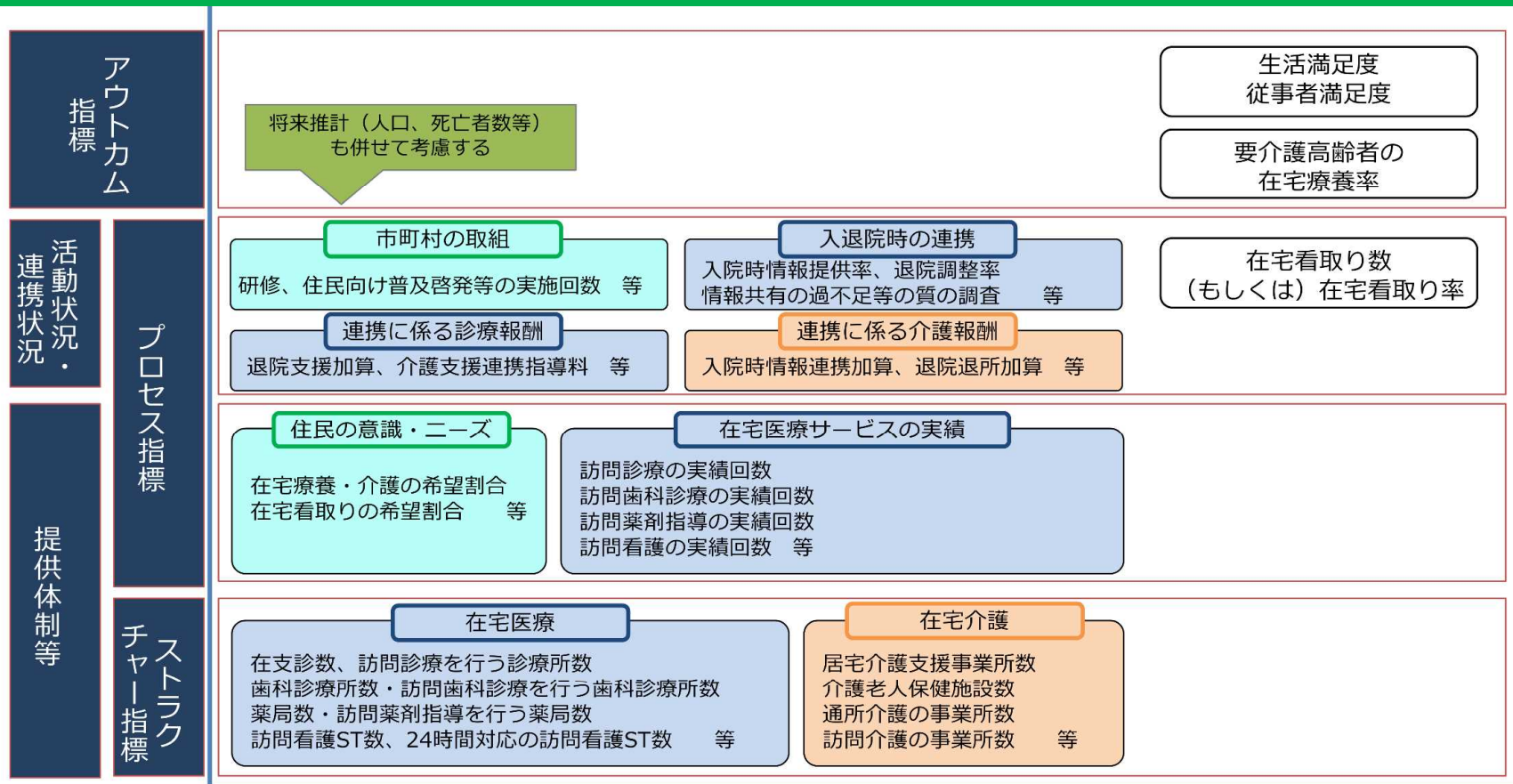
①市は分析や事業進捗確認用の指標・データと、目標となる評価指標を検討することが重要

②分析や事業進捗確認用の指標・データとしては在宅医療や在宅介護、住民の意識ニーズ、在宅医療サービスの実績等の指標を把握することが重要

※ 詳細別スライド参照

③目標となる評価指標としては、地域の実情や取組に応じて評価指標を検討、選択することが重要

在宅医療・介護連携推進事業における指標のイメージ



出所) 野村総合研究所作成

評価指標の種類

ストラクチャー (構造指標)

医療施設数など、医療サービスを提供する物的資源、組織体制の充足度を測る指標

プロセス (活動指標)

診療件数や多職種連携研修会の実施件数など、実際にサービスを提供する主体の活動や、他機関との連携体制を測る指標

アウトカム (成果指標)

年齢調整死亡率など、サービス提供の結果としての住民の健康状態や満足度等を測る指標

【 評価指標の内容について 】

①在宅医療

指標例	在宅支援診療所数、訪問診療を行う診療所数、訪問看護ステーション数など
考え方	地域内の在宅医療の提供体制を把握するためのストラクチャー指標。

②在宅介護

指標例	居宅介護支援事業所数、介護老人保健施設
考え方	地域内の在宅医療の提供体制を把握するためのストラクチャー指標。

③住民の意識・ニーズ

指標例	在宅療養・介護の希望割合、在宅看取りの希望割合
考え方	住民が在宅療養・介護に関してどのようなニーズを抱えているかを捉えるための指標。 地域における需要側の情報であり、アンケート等を通じた把握が必要。

④在宅医療サービスの実績

指標例	訪問診療の実績回数、訪問歯科衛生指導の実施回数など
考え方	地域内にどれだけの在宅医療サービスが提供されているかを把握するための指標。

⑤連携に係る診療報酬

指標例	退院支援加算、退院時共同指導料、介護支援連携指導料など
考え方	地域内の連携状況を医療面から把握するための指標。把握するためには医療レセプトデータを活用する必要がある。

⑥連携に係る介護報酬

指標例	入院時情報連携加算、退院退所加算など
考え方	地域内の連携状況を介護面から把握するための指標。把握するためには介護レセプトデータを活用する必要がある。

⑦市区町村の取組

指標例	研修、住民向け普及啓発等の実施回数など
考え方	在宅医療・介護連携事業において、市区町村が実施した取組内容を定量的に把握するための指標。

⑧入院時の連携

指標例	入院時情報提供率、退院調整率
考え方	広域を含む入退院時の連携状況を把握するための指標

⑨在宅看取り数(もしくは)在宅看取り率

指標例	在宅看取りの状況を評価するための指標
考え方	絶対数をそのまま用いても良い。在宅看取りを希望する住民の数を分母を用いて、率で把握、評価しても良い。

⑩生活満足度／従事者満足度

指標例	在宅生活を送る住民の生活満足度や在宅医療・介護サービスを提供する医療・介護従事者における満足度を測定する指標
考え方	制度上、統一的な質問項目は存在しないため、他地域との横比較がしづらいが、地域内で継続的に実施することで、事業の進捗状況を確認することができる。

⑪要介護高齢者の在宅療養率

指標例	地域でどれだけの在宅療養が実現できるかを評価するための指標
考え方	在宅療養率は自宅での療養に限定するものではなく、在宅療養を受ける入院外の患者の割合を指すことに留意。

つくば市が目指す理想像について

①地域課題の抽出・設定を行う上で、地域の目指す理想像を行政と医療・介護関係者が設定・共有することが重要

行政、医療・介護関係者 →

どのような地域社会を作りたいか 理念の具体化を目指す

医療・介護関係者 → 地域としてどのような在宅療養を提供していくか

市民 → 自分がどのように最期を迎えたいか

今後のスケジュール

- ①平成30年度第2回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会において各団体が考える理想像の共有と評価指標の協議検討
- ②平成30年度第3回つくば市在宅医療・介護連携推進協議会において評価指標の協議検討